

SOLID CABLE 取扱説明書

*このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
*ご使用前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
*この取扱説明書は大切に保管してください。

光パワーメーター

HT-HOPM

安全上のご注意

安全にご使用いただくため、注意事項は必ずお守りください。
守らずに、破損・事故を起こしたり、怪我を負った場合、当社は一切の責任を負いかねます。

警告表示 間違った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を分類して表示しています。

図記号 お守りいただく内容を図記号で表示しています。

	警告 死亡または重症、感電や火災を伴う危険性がある内容です。
	注意 軽傷を負ったり、機械の故障・破損のおそれがある内容です。

	禁止事項 : してはいけない内容です。
	順守事項 : しなければならない内容です。

- 注意**
- 本器を改造したり分解しないでください。故障の原因となります。
 - 本商品内部に液体・金属などの異物が入らないようにして下さい。故障の原因となります。
 - 本商品に強い振動、衝撃や荷重を与えないで下さい。故障の原因となります。
 - 高温・多湿となる場所に保管しないでください。故障の原因となります。

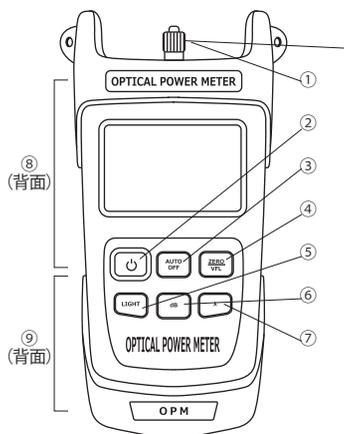
- 警告**
- 使用を開始する前に本器の外観構造に異常が無いかを確認して下さい。火災・感電・故障の原因となります。
 - 雨中や水に濡れる環境では危険ですので使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

用途・特長

- 7波長測定が可能なパワーメーターです。
- dB、dBm、W(mW/uW/nW)で表示されます。
- バックライト付ディスプレイの為、暗所での作業も可能です。
- SC・ST・FCコネクタに対応しています。
- オートパワーオフ機能のON・OFF切り替えが可能です。
- 電池の残量表示付きで、一目見て残量がわかります。

各部名称

- ① 光入力コネクタ (コネクタ保護キャップ付き)
使用時はコネクタ保護キャップを取り外してください
- ② 電源ボタン
電源 ON/OFF (電源 OFF 時は 3 秒以上長押ししてください)
- ③ オートパワー OFF ボタン
オートパワー OFF 設定時に使用します
オートパワー OFF モードの場合、約 10 分で電源が切れます
- ④ ゼロボタン
キャリブレーション設定時に使用します
- ⑤ バックライトボタン
バックライトの ON/OFF 設定時に使用します

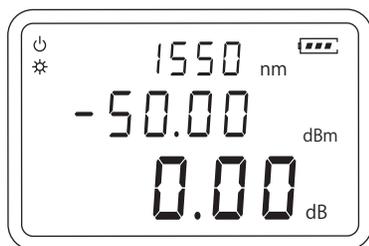


<付属品: SC ジャックコネクタ>
光入力コネクタに取り付けてご使用ください

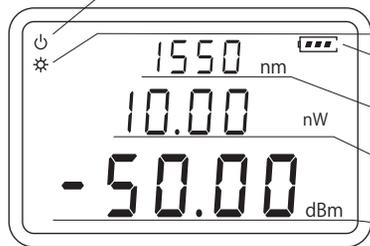
- ⑥ 表示変更ボタン
W(mW/uW/nW) と dB の計測表示変更時に使用します
- ⑦ 波長選択ボタン
波長変更時に使用します
850/980/1300/1310/1490/1550/1625nm に対応
- ⑧ スタンド (背面)
- ⑨ 電池ボックス (背面)
電池交換の際は本体裏面の電池ボックスの蓋を開け
単三アルカリ乾電池 3 本を正しい方向で入れてください
※電池は付属していません。別途ご用意をお願いします
※マンガン乾電池では正しく作動しない可能性がございます
アルカリ乾電池をご使用下さい

ディスプレイ表示

dBm 計測時表示画面



W 計測時表示画面



- オートパワー OFF 表示
表示がないときはオフになっています
- バックライト表示
表示がないときはオフになっています
- 電池残量
電池の残量が 4 段階のインジゲータで表示されます
- 波長
「入」ボタンを押すと波長を選択出来ます
- エネルギー単位
測定値 / 測定単位

検査手順

電力測定方法

- (1) 本製品に電池を入れ、コネクタ保護キャップを外します。
- (2) 本製品の電源を ON にします。
- (3) 測定したい波長を「波長選択ボタン」を押して選びます。
- (4) 光入力コネクタに計測するファイバケーブルを接続し、電力値を測定します。
- (5) 電力値測定中に表示変更ボタンを押すと、W(mW/uW/nW)/dBm から dBm/dB の表示に変更出来ます。

キャリブレーション方法

- (1) 電力値を測定している状態で、電源ボタンと表示変更ボタンを同時に押します。
- (2) ディスプレイ表示のエネルギー単位表示が全て表示される状態になります。
- (3) この状態で表示変更ボタンを押すと 0.05 単位でプラス、ゼロボタンを押すと 0.05 単位でマイナス設定が行えます。
- (4) 設定を行った後、電源ボタンを 3 秒ほど押すと、エネルギー表示単位が最初の電力値測定単位の表示になり、キャリブレーションが完了します。